

指標設定について(案)

指標設定について(案)

指標設定の基本的な考え方(案)

- 次期計画においては、民産学官の多様な主体の役割分担と連携のもと、既存緑地の保全を図るとともに、みどりの質を高める施策に重点的に取り組む方針。
 - ➡みどりの質向上を把握するため、各主体の意識や行動がどのように変わっていくのか、また取組の充実が図られているのか継続的に把握(モニタリング)する指標を設定。
- 併せて、各主体の取組の成果を府域全体として総合的に把握するための指標の設定も必要。(目標値を設定するか要検討)

具体的指標(案)

(1)主体別のモニタリング指標素案 ※具体的な項目については次回部会に向け精査

民(府民・NPO等)	産(事業者)
・ 生物多様性関連イベントへの参加者数 ・ 府営公園の利用者数 ・ 大阪産(もん)を日常的に購入している人の割合	・ アドプト事業参加団体数 ・ おおさか生物多様性応援宣言登録企業数 ・ 脱炭素経営宣言登録団体数 ・ 大阪府CO2森林吸収量・認証制度による木材固定量等 ・ 生物多様性に連携した取組みを行う事業者・団体数
学(教育・研究機関)	官(行政(国・府・市町村))
・ 博物館等の学校行事での来館者数 ・ 博物館等で実施するイベント参加者数 ・ みどりの効果等の評価手法の研究に関する指標 ・ 緑地の保全や緑化の推進に関する最新の科学的知見やデータの充実に関する指標	・ 府営公園の利用者数(再掲) ・ 府営公園でのイベント件数及び参加者数 ・ 府営公園の利用者満足度 ・ 府営公園のSNS発信数 ・ 樹木管理等に関する技術研修の参加者数 ・ 自然共生サイト登録件数 ・ 大阪府内産木材を使用した施設数 ・ 木育事業を実施した子育て施設数 ・ 森林防災・減災関連指標 (大阪府森林防災・減災アクションプラン検討部会での検討状況を踏まえ記載)

(2)数値目標(案) ～府域全体の状況を把握するための指標～

- 府域面積に対する緑地※の割合を維持 ※みどりの中で担保性があると判断できるもの(施設緑地、地域制緑地)